

【月案】4月・0歳児

今月の保育のポイント

- 特定の保育士が関わり、ゆったりとした関わりで愛着関係を築く。子どものありのままの気持ちを受け止め、「お腹がすいたら指をしゃぶる」などの子どもの欲求を知る。
- 緩やかな計画で子どものペースで生活できるよう、1日の予定をゆったりめにとり、個々の子どもが遊ぶ、寝る、食べることができるよう、環境に配慮する。
- おもちゃをはじめ、何でも口に入れるので消毒をこまめに行う。
- 職員同士で子どもの状態を共通理解し、必要事項を分担してできるようにしておく。
- 保護者も保育園での環境の1つと捉える。保護者の要望に寄り添い、応えられる柔軟な姿勢をもつ。

月のねらい

- 新しい環境や保育者に慣れ、安心して過ごす。
- ゆったりとした雰囲気の中で、遊びや食事を楽しむ。
- 保育者との関わりを喜ぶ。
- 生理的欲求を受け止め、心地よく過ごせるようにする。
- 家庭の生活リズムに配慮しながら、少しずつ園での生活リズムを整えられるようにする。
- 一人ひとりに合った方法で体を動かすことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：特定の保育者に慣れ、安心感を持つ（養護）
- 2週目：園での生活リズムを整える（養護）
- 3週目：保育者と触れ合うことを楽しむ（教育）
- 4週目：安心できる雰囲気の中で機嫌よく過ごす（養護）

その2

- 1週目：ふれあい遊びなどをしながら保育者とのスキンシップを楽しむ（教育）
- 2週目：玩具や身近な環境に興味をもち、触ったりなど自らかかわろうとする（教育）
- 3週目：安全な環境で玩具などで遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：保育士に見守られながら活発に身体を動かしたり、探索活動したりする事を楽しむ（教育）

その3

- 1週目：仕草や泣く様子から欲求を汲み取り心地よく過ごせるようにする（養護）
- 2週目：クーイングや喃語で発声することを楽しむ（教育）
- 3週目：機嫌や食欲に留意しながら健康に過ごせるようにする（養護）
- 4週目：寝返りやずり這い、つかまり立ちをしながら体を動かすことを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：安心できる環境の中で食事をしたり、遊んだり、眠ったりする（養護）

- 2週目：泣いたり笑ったりしながら自分の気持ちを伝えようとする（教育）
- 3週目：特定の保育者を求め、あやしてもらうことを喜ぶ（教育）
- 4週目：園での授乳や食事、睡眠に慣れ、安定して過ごす（養護）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 新しい環境や保育士に不安を感じ、寝ていても目が覚めたり泣いたりする姿がある。
- ミルクを飲む量は子どもによって異なり、一定量飲める子どももいれば全量を飲むのは難しい子どももいる。
- 離乳食を食べる子どももいれば、口から出したり嫌がったりする子どももいる。
- 環境の変化で体調を崩したり、ぐずったりすることが続く子どもがいる。
- 名前を呼ばれると嬉しそうにしたり、近寄ってこようとする子どももいる。
- お腹が空くと指をしゃぶるなど、欲求を示す行動が出ている。
- 朝の受け入れ時に保護者を求めて泣くが、保育者が抱っこをしたりおんぶをすることで次第に落ち着く。
- 周りの環境に興味を持ち、見渡したり、保育者の動きを目で追う。
- 家庭で食べたことがあるおやつや興味がある食材を手づかみで食べようとする。
- 慣れない環境で、オムツを替えることを嫌がる子がいる。
- 自宅で使っているブランケットや保護者の服があると落ち着いて過ごせる子がいる。
- 人見知りをして他のクラスの保育者や子どもを見ると泣くことがある。

教育（遊び）

- 腹這いが少しずつ上手になり、お座りができたりハイハイで動こうとしたりする姿がある。
- 気になった玩具を触ったりなめたりしている。
- おんぶや抱っこなどを好み、保育者に甘える姿がある。
- 機嫌が良い時にはにこにここと過ごし、喃語を発する子どももいる。
- 壁や柵につかまって立とうとしたり、伝い歩きをしようとする子どももいる。
- 数歩進めるようになった子もおり、歩行することに意欲的である。
- 保育者と視線を合わせたり、触れ合うことに笑顔を見せる。
- ハイハイやつかまり立ち等で保育室内を探索する姿が見られる。
- 玩具を振って音を鳴らすことを繰り返し楽しむ。
- 保育者が指差す先を見つめたり、話している保育者を見つめる。

活動内容（3つの視点対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- 活：新しい環境に対する不安な気持ちを保育者に受け止めてもらい、抱っこや声かけなどの関わりを持ちながら安心感をもつ。（ヒト）
環：新しい環境への不安感から、泣いて過ごす時間が多い子どももいる。特定の保育者が抱っこしたり声をかけたりすることで、安心して過ごせる関係を築くことを大切にしていく。
- 活：特定の保育者との関わりを深め、そばにいてもらうことで安心して過ごしたり眠ったりする。（ヒト）
環：慣れない環境の中でなかなか安心して眠れず、物音で起きたり布団では眠れない子どももいる。保育者がそばにいてくれる安心感を感じながら眠れるよう、周囲の環境に配慮する。

- 活:食事の際には意欲的に食べさせてもらったり自分で食べたりしようとする。(健やか)
環:食事の際には無理に進めず、様子を見ながら進めていく。子どもが食べようとする意欲はほめ、意欲的に食事ができるように援助する。
- 活:オムツを取り替えてもらう心地よさを感じる。(健やか)
環:おむつを取り替える際には「気持ち良くなったね」「スッキリしたね」など声をかけ、子どもが心地よさを感じられるようにする。
- 活:自分の名前を呼ばれたり話しかけられることを喜ぶ。(ヒト)
環:子どもへの言葉かけやスキンシップはたくさん行い、子どもが保育者に対して親しみが持てるようにする。また、親しみのある保育者から名前を呼ばれたり話しかけられることを楽しめるよう、保育者から積極的に関わりをもつようにする。
- 活:布団で一定期間安定して眠る。(健やか)
環:安心して布団で眠れるように、家庭での入眠方法や生活リズムを聞き取り、安心できる場所や入眠方法を取り入れる。
- 活:保育者に安心し、哺乳瓶からミルクを飲む。(健やか・ヒト)
環:やさしい落ち着いた声掛けを行いながら、表情含めてゆったりとした雰囲気です授乳を進める。また、ミルクを飲んだ後に満足しているかどうか、観察をする。
- 活:保育者に安心感と信頼感を寄せながら、心地よい楽しい生活を送る。(健やか・ヒト)
環:これから子どもが安心して要求したり、発見を共有できるような存在になれるよう、子どもと信頼関係を築くために、保育者が子どもひとりひとりに「大好き」の心をもって心が通った保育を行う。
- 活:欲求を仕草や泣くことで伝え、満たしてもらいながら安定して過ごす。(健やか・ヒト)
環:保護者からの情報をもとに、一人ひとりの仕草や生活リズムに沿って欲求を汲み取り、心地よく過ごせるようにするとともに愛着関係を築いていく。
- 活:温かくゆったりとした雰囲気の中で安心して過ごす。(健やか)
環:笑顔溢れる雰囲気の中で、「可愛いね」「大好きだよ」「お話してたのね」と穏やかに言葉かけし安心して過ごせるよう関わる。
- 活:保育者と肌と肌で触れ合ったり応答的な関わり中で人と関わる心地よさを感じる。(ヒト)
環:優しく肌に触れたり、クーイングや喃語に応答的に関わる中で保護者以外の人と関わることの心地よさが芽生えるよう丁寧に関わる。
- 活:オムツが濡れていることやお腹が空いたこと等、不快な気持ちを表現する。(健やか)
環:排泄の有無や前回の授乳や食事の時間を確認し「濡れて気持ち悪いね」「教えてくれてありがとう」「お腹空いたね」と気持ちを汲み取って言葉かけしながら、不快を取り除く。
- 活:保育室や園庭、ホール等の新しい環境に慣れる。(モノ)
環:子どもの目線で怪我や誤飲に繋がる物がないかを確認する。保育者が見守る安心安全な環境の中で探索を楽しみながら、少しずつ園を安心できる場として認識できるようにする。
- 活:保育者を声で呼んだり、保育者の側に移動する。(ヒト)
環:「抱っこしてほしいね」「来てくれて嬉しいよ」と笑顔で関わりながら、愛着関係を築いていく。
- 活:顔や手を拭いてもらったり衣服交換してもらい、心地よく過ごす。(健やか)
環:歯が生え始めに伴いよだれが多くなったり、食事で衣服や体が汚れることがあるため、「綺麗にしようね」と言葉かけしながら衣服交換をしたり顔や手を拭くことで綺麗にする気持ち良さが芽生えるよう関わっていく。
- 活:顔色や表情、機嫌等から体調を把握してもらい健康に過ごす。(健やか)
環:保護者からの情報や丁寧な視診・触診を行い体調の変化に早期対応できるようにする。

教育(遊び)

- 活:戸外へ散歩に行き、外の風の心地よさや陽の暖かさを感じる。(モノ)
環:戸外遊びや散歩の際には「風が気持ちいいね」「お日様がでていて暖かいね」など具体的に声かけを行い、子どもが心地よさを感じられるようにする。

- 活:ハイハイやずりばいで動くことを楽しむ。(健やか)
環:ハイハイやずりばいで行動範囲が広がり、身の回りの様々なものに興味を示すようになる。子どもが動きまわっても危険のないよう、床だけでなく棚や柵などにも危険箇所がないかよく確認しておく。
- 活:様々な玩具に興味を持ち、触れたり遊んでみたりする。(モノ)
環:玩具に興味をもち触ったり持ったりすることが増える。口に入れたりなめたりすることも多いため、玩具の消毒はこまめに行うようにする。また、誤飲につながる玩具がないように注意する。
- 活:保育者が行う手遊びをみて、真似するなど興味を示す。(ヒト・モノ)
環:簡単な手遊びやテンポの良い短いわらべうたなどを子どもに聞かせ、言葉やリズム遊びに興味を湧くようにしていく。
- 活:簡単な絵本や歌に合わせるように喃語を発したり、保育者の話しかけに反応するように喃語を発したりする。(ヒト・モノ)
環:絵本を準備する際には繰り返しの多い、簡単な言葉のものを準備する。保育者の言葉に合わせるように喃語を発することが楽しめるよう、繰り返し絵本を読み聞かせるようにする。
- 活:色んな物を握る、触って遊ぶ。(モノ)
環:好きなおもちゃが見つかるようにし、同じ場所に置いておくことで繰り返し子どもが楽しめるようにする。身近な素材で手作りおもちゃを作り、発達に沿って楽しめるようにしておく。
- 活:うつ伏せや腹ばいの姿勢をしようとする。(健やか)
環:うつ伏せの状態でするように周りに好きなおもちゃ等を置いておく。呼びかけをするなど、腹ばいの動きにつながるような声掛けを行う。
- 活:ハイハイ・つかまり立ち・伝い歩きを十分に、探索行動を活発に楽しむ。(健やか・ヒト・モノ)
環:探索用に段ボールのトンネルやマットで傾斜をつくり、下にマットを敷くなど安全に配慮しつつも子どもがわくわくしながら過ごせる環境を整える。
- 活:保育者のあやしや触れ合いを喜び、保育者との信頼関係を深める。(ヒト)
環:豊かな表情、優しい声色で関わり、安心感や保育者と触れ合う心地よさに繋げていく。
- 活:保育者の見守りの中、好きな玩具を見つけて遊ぶことを楽しむ。(モノ)
環:安心できる保育者が見守ることで、周りの環境に主体的に関わっていけるようにし、好きな玩具で存分に遊べるようにする。
- 活:指差しをしたり、保育者の指差しをする方を見つめる。(健やか・ヒト)
環:「～あったね」「見つけたのね」と温かく受け止めてコミュニケーションを図ったり、保育者が周りの様子について知らせていくことで興味に繋げていく。
- 活:両手に玩具を持ったり、叩き合わせたりする。(モノ)
環:両手に玩具を持っているとバランスを崩しやすいため、座り始めの時期や歩行したての時期は安全面に留意していく。
- 活:様々な音や感触に気付く。(モノ)
環:様々な音が出る玩具や素材の物を用意し、「ピッピッって音が鳴ったね」「プニプニしてるね」と代弁したり、偶然から発見に繋がった場面を見逃さず発見や面白さを共有していく。
- 活:マットやトンネル等に興味を持ち、叩いたり、ハイハイで進んだりくぐったりしようとする。(モノ)
環:保育者が遊ぶ姿を示したり、名前を呼びかけて、興味や体を動かす意欲を引き出す。「フカフカしてるね」「先生のところまで来れてすごいね」と笑顔で言葉かけし、感覚を刺激することや運動発達に繋げていく。
- 活:欲しい玩具があると手を伸ばしたり、声を出して保育者に伝える。(ヒト・モノ)
環:伝えようとする姿を丁寧を受け止め、「これで遊びたいのね」「楽しいね」と笑顔で言葉かけしながら気持ちを満たし、嬉しさに繋げる。
- 活:玩具をつまんだり、押したり、出し入れしながら遊ぶことを楽しむ。(モノ)
環:自ら玩具に関わり、試す姿を側で見守りながら集中して遊び込めるようにする。「つまめたね」「全部出せたね」と言葉かけし、楽しさや手指の発達に繋げていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 新しい環境に慣れるまで疲れが出やすく、体調を崩しやすい。一人ひとりの健康観察を注意して行い、いつもと違う様子がないか常々気にかけるようにする。
- 一人ひとりの生活リズムを把握し、遊びや睡眠、食事の時間などゆったりとした時間を過ごせるように配慮する。
- ハイハイしたり伝い歩きをしたりと活動が少しずつ活発になっていくため、安全に探索活動ができるように危険なものがないかよく確認しておく。
- 玩具などは口に運びやすいため、消毒などを徹底して行っていく。
- ハイハイやつかまり立ちをする時に服の裾に引っかからないよう裾をズボンにしまったり衣服交換をする。
- 玩具点検を小まめに行い、誤飲しないよう十分留意する。
- 自分の皮膚や友達の皮膚を傷つけないよう、爪の長さを確認する。
- 調理員とアレルギーの有無や離乳食の形態等について連携を図り、安全な離乳食提供を行う。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- あおむし製作／ゆらゆらつくし／てんとう虫製作

歌

- せんせいとおともだち／おつかいありさん／めだかのがっこう

絵本

- はくしゅぱちぱち／ぴょーん／あかあかくろくろ

手遊び

- ちょちちょあわわ／つくしんぼ／おべんとうばこのうた

室内室外遊び

- 風船遊び／大きな布でひらひら、ゆらゆら／はるかぜにのって

行事

- 入園式
- 身体測定
- 避難訓練
- 誕生日会
- 個人面談
- 全体懇親会
- エイプリルフール(4/1)
- 花まつり(4/8)

- イースター(4/20)
- 恐竜の日(4/17)
- 昭和の日(4/29)

食育

- 保育者に声をかけてもらいながら、楽しい雰囲気の中で食事をする。
- 食べようとする意欲を認め、様々な食材に少しずつ興味が持てるようにする。
- ゆったりした雰囲気の中、安心してミルクを飲む。
- 哺乳瓶やミルクの味、離乳食に少しずつ慣れる。

異年齢保育

- 友だちに話しかけられたり、ふれあう喜びに共感し、人に対する興味を育てていく。
- 不安で泣くときは、安心できるように抱っこをしつつ、友だちが楽しく遊ぶ様子が目に入るようにする。
- 少人数でわらべうたあそびを楽しむ中で、人と関わる心地よさを感じられるようにする。
- 園庭で友だちとの関わりが生まれる場面では、周囲の安全に配慮しつつ、やり取りを見守る。
- 友だちが使う玩具への興味を受け止め、互いに心地よく関われるように仲立ちする。

職員間の連携

- 入園前の生活や個性、健康状態を把握して共有し、職員全体で対応を統一しながら関わる。
- 個々の生活リズムに合わせながら心地よく過ごせるように、担任間で役割分担を行う。
- 子どもが安心感を持って生活できるように、できる限り同じ保育者が授乳や排泄、午睡に関わる。
- 離乳食の進み具合を調理員や栄養士とこまめに共有し、共通理解を持ちながら進めていく。
- 一人ひとりの発達を正確に捉え、安全に過ごせる室内環境について保育者間で話し合う。

地域と家庭との連携

- 園での生活の様子と家庭での様子を保護者と伝え合い、安心して子どもを預けられるように信頼関係を築いていく。
- 食事の量や寝るタイミング、排泄などの生活リズムや健康状態などを家庭と密に伝え合い、一人ひとりの様子に合わせて生活がおくれるようにする。
- 個人面談や全体懇親会などの行事に参加してもらえるよう早めに声かけを行い、協力をお願いする。
- 朝夕の支度、準備物等について丁寧に伝えていく。
- 慣らし保育の日程について、子どもの様子と保護者の意向に寄り添いながら決めていく。
- 成長が著しい時期を保護者とともに見守り、成長の喜びを共有していく。

長時間保育の配慮

- 扉付近などの危険箇所の前には、仕切りやベビーゲートを設置し、安全に配慮する。
- 普段と違う環境への不安を受け止め、抱っこやわらべうたあそびを通じて応答的に関わる。
- 保護者への連絡事項の伝え漏れを防ぐため、メモやノートを活用して、確実に申し送りを行う。
- 一人ひとりの生活リズムに合わせた対応ができるように、静かに眠れる環境を整えておく。
- 授乳の際は、落ち着いたスペースを準備して行き、目を合わせながらゆったりと関わる。

自己評価

- 特定の保育者との関わりを深め、安心して過ごすことができたか。
- 自分の名前を呼ばれたり話しかけられることを喜んでいたか。
- 保育者に見守られながら、安心して眠ることができたか。
- 戸外に散歩に出かけ、心地よさを感じられたか。
- ゆったりした雰囲気の中で、健康的に過ごすことができたか。
- 食事を楽しみ、意欲的に食べ進めることができたか。
- 玩具に興味をもち、触れたり使って遊んだりできたか。
- 環境の変化による体調の変化に留意し、健康に過ごせたか。
- 一人ひとりに合った方法で体を動かすことを楽しめていたか。
- 安心できる雰囲気の中、探索活動を盛んに行っていたか。
- ミルク、離乳食の味に慣れることができたか。
- 心地よくオムツ交換できるよう関わったか。
- 一人ひとりの仕草や癖等から欲求を汲み取り、満たせるよう関わったか。
- 子どもの家庭や園での様子を共有し、園での様子は具体的に伝え、保護者が安心して子どもを預けられるよう関わったか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

